

日本肥満学会誌「肥満研究」投稿規定

1. 投稿原稿の種類

投稿原稿は、肥満および肥満症に関連する総説、原著、短報、症例報告、トピック、レター、特別寄稿などとする。原著、短報、症例報告は未発表の内容に限る。

総説 (Review) : ひとつのテーマに関連する多くの研究論文の総括、評価、解説

原著 (Original article) : 新知見や創意が含まれる研究の報告

短報 (Short article) : 原著に準ずる研究の速報

症例報告 (Case report) : 興味深い症例の報告

トピック (Topic) : 興味深い話題や知見の紹介

レター (Letter) : 編著者への意見、提案など

特別寄稿 (Special article) : 刊行編集委員会からの執筆依頼

2. 投稿原稿の筆頭著者と責任著者は原則日本肥満学会員に限る。ただし、編集委員会の合意があれば、日本肥満学会非会員に寄稿を依頼することを可とする。

3. ヒトを対象とする研究報告は「ヘルシンキ宣言*1 (1964年採択、最新の修正版を参照のこと)」の精神に則っており、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針*2 (令和3年3月23日制定、最新の改正版を参照のこと)」を遵守している必要があり、そのことを文中に明記する。また該当する場合「遺伝子治療等臨床研究に関する指針*3 (平成31年2月28日制定、最新の改正版を参照のこと)」も遵守している必要があり、そのことを文中に明記する。全ての研究は、倫理委員会の承認を得たうえで、承認番号の報告を必要とする。患者情報の含まれる研究報告については患者のプライバシーに配慮し、インフォームドコンセントを得ていなくてはならない。

*1ヘルシンキ宣言 <https://www.med.or.jp/doctor/international/wma/helsinki.html>

*2人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、*3遺伝子治療等臨床研究に関する指針 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>

4. 投稿にあたって、共著者を含めたすべての著者は、投稿時点の前の年から過去3年間における利益相反(COI)について、日本肥満学会「発表者のCOI報告書」にて1名につき1枚作成し、日本肥満学会「肥満研究」編集部へ提出する。また、利益相反について論文の所定の箇所に記載する。COI状態がない場合は、「本論文の研究内容に関連し、開示すべき他者との利益相反を有さない」の文言を記載する。COIについては、投稿時点における最新の日本肥満学会の「利益相反(COI)に関する共通指針」を参照すること。

参照：日本肥満学会 <http://www.jasso.or.jp/contents/download/index.html>

5. 動物を用いた研究報告は実施機関の動物実験指針に則っており、施設の動物実験委員会等の承認を得たうえで、承認番号の報告を必要とする。

6. 投稿の際には「投稿確認・同意書」に必要事項を記載のうえ、責任著者が署名したものを添付する。

7. 原稿の長さ

原著、総説、特別寄稿は原則として刷り上り10ページ(20,000字、10,000 words)以内とする。

短報、症例報告、トピック、レターなどは刷り上り3ページ(6,000字、3,000 words)以内とする。図表は1点を400字に換算する。

8. 原稿作成要綱

原稿は次の要領に従って作成する。

- 1) 原稿の体裁：全て和文または全て英文とする。原稿はA4 判横書きとし、ページすべてに通し番号をつける。原稿ファイルは、表題ページ、要旨、本文、文献を1つにし標準的な形式（docx等）で作成する。英文の場合は原則として英文校正をうけること（証明する書類を求める場合がある）。
- 2) 表題ページ：表題、著者名、所属機関名、キーワード（5 個以内）、責任著者連絡先、ランニングタイトル、原稿枚数、図表の数を記す。英文提出の場合は、以上を全て英文のみで記載する。和文提出の場合、表題、著者名、所属機関名は、和文、英文とも記載する。
- 3) 要旨（Abstract）：原著および総説（総説企画を除く）では、背景・目的（Background and Purpose）、方法（Methods）、結果（Results）、結論（Conclusion）の順に記載する。和文論文は、和文800 字以内、英文400 words 以内の両方を作成する。英文論文は英文400 words 以内のみを作成する。
- 4) 本文：原著では、原則として、「要旨（Abstract）」に続いて「はじめに（Introduction）」「方法（Methods）」「結果（Results）」「考察（Discussion）」「結論（Conclusion）」「謝辞（Acknowledgements）」「文献（References）」の項目順に記載する。原著以外の原稿については、項目名、区分を自由とする。原稿中の用語は日本医学会編「日本医学会医学用語辞典 英和・和英」により、略語は初出のときに正式用語を用い、（ ）に略語を記す。度量衡の国際単位SI JIS Z 8203（2019）を原則とする。
- 5) 文献：文献は本文中の引用箇所の右肩に引用順に番号をつけ、下記の例に従い本文の最後の一括して記載する。著者は最初の3 名を記し、あとは「ほか」（英文ではet al.）とする。雑誌名の略記は和文の場合は、原則として医学中央雑誌刊行編「医学中央雑誌目録：略名リスト」、英文の場合はIndex Medicus を参照とする。ただし、本誌は略記も「肥満研究」とする。

【記載例】

〈学術雑誌〉著者名（3 名まで）、表題、雑誌名、発行年（西暦）、巻：頁-頁。

例1) 徳永勝人, 中村 正, 松澤佑次ほか：内臓脂肪症候群。日内会誌 1992, 81: 1831-1835.

例2) Stunkard AJ, Harris JR, Pedersen NL, et al.: The body-mass index of twins who have been reared apart. N Engl J Med 1990, 322: 1483-1487.

〈単行本〉著者名（3 名まで）：表題。編者名。書名。発行所所在地：発行所、発行年（西暦）、引用頁-頁。

例1) 吉田俊秀：肥満における熱産生機構の異常。池田義雄, 井上修二編。新版肥満の臨床医学。東京：朝倉書店, 1993, 21-31.

例2) Stunkard AJ: Talking with patients. Stunkard AJ and Wadden TA (eds): Obesity: Theory and therapy. 2nd ed. New York, Raven Press, 1993, 355-363.

- 6) 表は、本文と別ファイルで、編集可能な形式（xlsx, docx 等）にする。表には、通し番号（表1, 表2など）と日本語の説明文をつけ、本文中に挿入箇所を（表1）等で明確に指定する。
- 7) 図・写真は、本文、表と別ファイルとする。図には、通し番号（図1, 図2など）と日本語による説明文ををつけ、本文中に挿入箇所を（図1）等で明確に指定する。

9. 原稿の送付

1) 電子投稿を原則とする。

2) 電子メールは、日本肥満学会事務局「肥満研究」編集担当宛 (info@jasso.or.jp)とし「肥満研究」投稿原稿であることを端的に記載する。添付ファイルとして、①カバーレター（編集委員長宛、原著、短報、総説、症例報告、トピック、レターの別、論文内容のアピール、著者の連絡先等）、②原稿、③表、④図・写真、⑤投稿確認・同意書、⑥日本肥満学会「発表者のCOI報告書」を含むこと

宛先

メール題名：【日本肥満学会】「肥満研究」投稿論文

日本肥満学会事務局「肥満研究」投稿論文担当 宛

E-mail：info@jasso.or.jp

問い合わせ先：TEL：06-6978-8760

10. 投稿原稿の採否は査読審査をした後、編集委員会で決定する。投稿原稿の査読審査報告後、原則として3 ヶ月以上経過してから再投稿された原稿は、新規投稿原稿とみなす。

11. 校正

著者校正は1回とする。

12. 掲載料

掲載料は刷り上り6 ページまでは無料、超過分は1 ページ当たり10,000 円を著者負担とする。

またカラー印刷を希望の場合は著者の実費負担（1 ページ当たり約50,000 円）とする。

13. 別刷

別刷の実費は著者負担（1部250 円。ただし50 部以上の作成及びページ数が6 ページ以上の場合は別途見積）とする。

14. 学会誌および本学会のホームページ上に掲載された論文等の著作権は日本肥満学会に帰属する。

2006 年4 月17 日改訂

2008 年8 月25 日改訂

2009 年10 月25 日改訂

2010 年8 月25 日改訂

2011 年12 月25 日改訂

2012 年4 月25 日改訂

2013 年8 月25 日改訂

2016 年10 月6 日改訂

2019 年11 月1 日改訂

2020 年2 月19 日改訂

2021 年4 月15 日改訂

2021 年7 月8 日改訂

2023 年6 月29 日改訂